

驚異の トリプル・ホリック!!



東江一紀

画面が派手。パワーマンズが派手。

ワープロ専用機を長く使っていた身としては、画面に出てくる色なんて、一色じゃ困るけど、白と黒、二色あれば十分だ。三色なら十五分で、十二色なら一時間。

なのに、パソちゃんとか来たら、二百五十六色だの六万五千色だの千六百七十七万色だの、むちゃくちゃなことを言っている。ちと過剰が過ぎるんじゃないの？

音だってさあ、べつに「高品質なサウンド機能」なんて、わたしや追求してないよ。何か緊急事態が生じたときのアラーム音ぐらいで、用は足りると思うんだけどね。

つまり、何もかもが大げさなのだ。ちよつとした操作を無事に成し遂げると、色彩的にも、音響的にも、華々しく、けたたましく、仰々しく報いられる。

例えば、文庫本一冊分ぐらいの翻訳原稿で、「俺」を全部「おれ」に直そうとして、全テキスト置換を実行すると、サスペンスタッチの効果音の流れ、画面が超高速スクロールして、数秒後、ジャンという音とともに、「573個の文字列を置換しました」などというメッセージが表示される。

なんだか偉業を達成した気分させられて、座ったまま、しばし陶然としてしまう。

そう、偉業の大安売り。その結果、誇らし

サーバースペース・ニューカマー症候群、
とでもいうんでしようかね。

ビギナーのくせして、パソコンを手足のごとく操ろうという、身の程知らずの壮図から発したさまざまな変調が、デリケートな中年翻訳者の心と体をむしばみつつある。

まずは、躁鬱症である。わたし、もともと

躁鬱のケがあつて、ただし振幅の周期が比較的長く、つい先日まで、躁の状態が四十五年ほど続いていた。

それが、パソコン導入以来、目くるめく恍惚至福の境と深い絶望の淵とを、一日のうち

に何度も往復するようになった。
なにせ、パソコンというやつは、派手です。

さのインフレ↓相対的価値の下落という事態が発生する。たいしたことはしていないのに、心は頻繁に浮き浮きモードになるのだ。

ところが、ほんの少しでも誤操作をすると、パソちゃんはふいつと顔をそむけてしまう。今まで楽しく仲よくやってきたのに、突然、むくれちゃって、口もきいてくれない。

場合によっては、明らかにパソちゃんの側の手落ちなのに、謝るところか、話し合いすら拒んで、凍りついちゃったりする。

わがままなのだ、パソちゃんは。

それに対して、こちらは強気に出るわけにはいかない。威嚇も、恫喝も、叱責も、この相手には通じません。ひたすらなだめて、ご機嫌を取るしかない。

みじめなもんです。人生のなんたるかも解さない小娘に、くちばしの黄色いひよっこに、媚びへつらわなくちゃいけないんだから。

この敗北感は、とても大きい。未来へ続いているように見えた道が、じつは蜃気楼に過ぎなかったと知らされたような。これまでの三十五年の人生を、いきなり全否定されたような（こら、こら、こんなところで歳をサバ読むんじゃない！）……。

かくして、上げ底の躁はたちまち下げ蓋の鬱へと転落する。その鬱も、フリーズが解けたとたんに消えてしまい、次の躁も、次のフ

リーズまでの命しかない。上がったりがったり、忙しいたらありやしません。

それから、過換気症の徴候も著しい。何か予想外の事態が持ち上がるたびに、ハードディスクがぶっ壊れたんじゃないか、ディスプレイが爆発するんじゃないかなろうか、と、不安が胸を駆けめぐり、それを静めるために、「落ち着け、落ち着け、深呼吸だ」と自分に言い聞かせるので、逆に代謝が亢進して、呼吸困難・動悸・胸痛を引き起こすのだ。

うくん、書いているうちに、日々寿命を縮めているような気がしてきたなあ。だいじょうぶでしょうか、わたし。

ついでに、マウス依存という情けない症状もある。パニックに陥ると、反射神経が機能を停止してしまい、「ええと、深呼吸だよな、深呼吸。深呼吸って、どこをクリックすればいいんだっけ？」と、なんでもかんでもマウスでかたづけようとするのだ。

うちのマウスに酸素ボンベがインストールされているのは、そういうわけです。って、本気にしないでくださいね。

こうやって振幅の激しい一日を送ると、夜にはもう、心身ともぐったり。アルコールの助けなしには、寝床へ這ってもいけないというありさまで、当然、重度のアルコール依存という症状も加わってくる。

しかし、このアルコールだけは、わたし、ビギナーじゃありません。むしろ、フィニッシュヤーに近い（どういう意味だ？）。まあ、メインストリームに行く正統派アルコール依存者が、サイバーホリック系ワーカホリックのアルコホリックに進化（？）した、と、そういうことでしょうかねえ。

じつは、インターネットに、アル中度テストをしてくれるサイトがある。埼玉大学の先生のページなんですが、同好の読者諸氏のために、URL（アドレス）を書いておきましょう。<http://www.ke.ics.saitama-u.ac.jp/makoto/sake.html> です。

結構シビアなテストで、ちなみに、わたしの点数は（何点満点か知らないけど）五・八。きわめて問題あり（重篤問題飲酒群）という判定が出ました。

なんだかすごそうだけど、次のページの来訪者リストを見ると、わたしよりずっと高得点の人がいっぱい並んでいて、かえって励まされてしまった。これじゃあ、テストの意味がないよなあ。

二十点以上を取ったオンラインの飲み友達諸君よ、もっと体をいたわりたまえ。これからは、バーチャル・ドリンキングの時代だぞ。って、こんなこと言っていていいのか？

錯乱ぼのおいしい季節です。